

深南部 黒沢山

メンバー 古橋猛

2016年2月7日(日) 晴れ

戸中山林道は、石、岩などで無惨に埋まっていた。水窪ダムに戻り、残留の石津さんに連絡し、奈良代林道ゲートから登る事を伝えた。

道が悪く、ゲートに辿り着く前に車で遭難しそうだったので、標高 1130 メートルに車を置いてスタートした。林道ゲートまで雪が殆んど無かった。林道終点までの登山コースには雪が薄っすらあった。

シャウゾ山までの、なだらかの尾根には、10センチの雪が有った。シャウゾ山から、笹が出てきてだんだん濃くなる。尾根の北側に、巻き道が有り助かった。

突然、鹿の群れが走りだす。野獣の匂いがする。縦、横、無尽蔵にある獣道を頼りに倒木が織りなす笹藪を右往左往しながら歩く。倒木に乗ったり、潜り抜けたりして稜線にたどり着く。黒沢山へ北に向き直り笹の薄い所を探して登って行った。

笹の中に、雪が有る。でも気温が氷点下なので笹に水気がなく、笹は、滑らない。雪は、硬めで 20 cm 位で、蹴り込むと良い足場になった。山頂まで距離 200 m は、踏み抜きながら着いた。

山頂は、暗く、景色もない、北に少し

歩くと、北部の山、中ノ尾根山、光岳、聖岳などが見られた。聖岳のみ雪を白くまとっていた。撮影後、コンパスで方向を確認後、下山する。南に出ている尾根を下りていく。下りも笹は、まるきり滑らない、なので尻餅をつかない。ここは、真冬に来るところだと思う。元来た道が良くわからないので進行方向だけ確認して笹藪地獄に戻って行った。

(タイム)

林道 1130m地点 7:30

奥布山 9:30

シャウゾ山 10:25

黒沢山 13:10

シャウゾ山 16:01

ゲート 17:12

林道 1130m地点 17:40

